

梯 郁太郎 テクニカル・グラミー・アワード 受賞記念  
Ikutaro Kakehashi Technical GRAMMY® AWARD



Yuri Tachibana

# Yuri Tachibana Roland Organ Concert

## Isao Tomita's world



Ikutaro Kakehashi

橋 ゆり  
ローランド オルガンコンサート  
～橋ゆりのオルガン演奏で綴る、富田勲の世界～

Special Conversation

スペシャル対談も!

富田 勲



大林 宣彦



梯 郁太郎



日時 2013 12/17 火 18:30開場 19:00開演

会場 紀尾井ホール 〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町6番5号

入場料 前売 [一般]2,500円 [学生]2,000円

当日 [一般]3,000円 [学生]2,500円

※いずれも税込・全席自由

出演

〔スペシャル対談〕

作曲・編曲家 富田 勲  
映画作家 大林 宣彦  
ローランド創業者 梯 郁太郎

〔演奏〕

オルガニスト・アレンジヤー 橋 ゆり  
パーカッションニスト 梯 郁夫

演奏曲

「源氏物語幻想交響絵巻」より 抜粋  
新日本紀行、勝 海舟 その他

司会

村松 真貴子

使用  
楽器



ローランド・オルガン  
ミュージック・アトリエ  
AT-900



ローランド・デジタル・ハンド・  
パーカッションハンドソニック  
HPD-20 他



NATIONAL ACADEMY OF RECORDING ARTS & SCIENCES  
TECHNICAL GRAMMY AWARD — 2013  
IKUTARO KAKEHASHI & DAVE SMITH

〔主催〕公益財団法人ローランド芸術文化振興財団

〔後援〕キングレコード株式会社・一般社団法人日本ポピュラー音楽協会・全国協力楽器店

〔協力〕ローランド株式会社



橋 ゆり ローランド オルガンコンサート ~橋ゆりのオルガン演奏で綴る、富田勲の世界~

この度、ローランド創業者 梯 郁太郎が「Technical GRAMMY® Award」を受賞、日本人個人としては初の快挙を成し遂げました。

この「テクニカル・グラミー・アワード」は、The Recording Academyが音楽産業の発展において、レコーディング分野で優れた技術で貢献した個人や企業を表彰する賞として授与するもの。今回、メーカーを問わない電子楽器の世界共通規格としてMIDI (ミディ) の制定に尽力し、MIDI規格がその後の音楽産業の発展に大きく貢献したことが評価され、この度の受賞となりました。今回のコンサートでは、梯 郁太郎がその生涯をかけて開発に情熱を注いできた、電子技術の結集ともいえる電子オルガン「ミュージック・アトリエ」を駆使し、オルガニスト・アレンジャーとして活躍中の橋ゆりが、梯の旧友であり、梯とともに新たな音楽の道を切り拓いてきたもう一人のMUSIC INNOVATOR、富田勲氏の作品に挑みます。このオルガンにはそのMIDIの技術が集約されており、まさにフルオーケストラに匹敵するオーケストレーション演奏がリアルタイムで可能となっている今、オルガニスト橋ゆりが富田ワールドをオルガンでどのように繰り広げていくのか、大注目です。2013年の締めくくりにあふさわしい、壮大なスケールの演奏をぜひお楽しみください。



作曲・編曲家  
富田 勲 (とみた いさお)

1932年(昭和7年)東京生まれ。慶応義塾大学在学中に作曲家・平尾貴四郎、小島幸次郎に師事。1950年代前半から放送、舞台、映画、コミックなど多彩な分野で作曲家・編曲家として活動し、優れた作品を数多く残している。1974年にシンセサイザーによる本格的な第1作である「月の光」ビュッシーによるメルヘンの世界を発表し、アメリカ・ビルボード誌のクラシックチャート第一位を獲得するなど、全世界でのヒットとなった。オーケストラのすべての音色作りはもちろん、全パートの演奏と録音を富田氏が自身一人でこなされたもので、この音楽制作方法は現在主流となるパーソナルスタジオでの音楽制作の先駆けとなっている。その後も、次々とアルバムを発表。クラシック・ファンや電子音楽ファンのみならず、幅広い層から圧倒的な支持を得ている。また、「トミタ・サウンドクラウド」を世界各地で開催、「源氏物語幻想交響録」などの作曲や、奥三河の霊山、鳳来寺山の鏡の反射音を利用した5.1chサラウンドによる「仏法僧に捧げるシンフォニー」を発表。2011年には「京ことばによる源氏物語幻想交響録巻」(怒星(ブラネット)Ultimate Edition)といったサウンドアルバムを発表するなど、音と音響空間にこだわった富田氏の旺盛な活動意欲はとどまることを知らない。近年では、ヴァーチャルシンガー「初音ミク」をリミットに起用した「イーハートブ交響曲」世界初演を開催、大きな注目を集めている。公益財団法人ローランド芸術文化振興財団幹事「エレクトロニクス・アーツ浜松賞」第一回受賞。



映画作家  
大林 宣彦 (おおばやし のぶひこ)

1938年広島県尾道市生まれ。3歳の時に自宅の納戸で出合った活動写真機で、個人映画の製作を始める。上京後、16mmフィルムによる自主製作映画「EMOTION」は伝説の午後、いつか見たドラキュラが、画廊・ホール・大学を中心に上映されジャーナリズムで高い評価を得る。「喰べた人」(63)はベルギー国際実験映画祭で審査員特別賞を受賞。この頃からテレビコマercialの草創期に本格的に関わり始め、チャールズ・ブロンソンの「マンダム」、ソフィア・ローレン、カトリーヌ・ドナウヴなど外国人スターを多数起用。その数は2000本を超える。1977年「HOUSE/ハウス」で商業映画にも進出。同年の「睡の中の訪問者」と共に「ブルーボン新人賞」を受賞。故郷で撮影された「転校生」(82)「時をかける少女」(83)「さびしんぼう」(85)は「尾道三部作」と称され親しまれている。「異人たちの夏」(88)で「毎日映画コンクール監督賞」、「北京の西瓜」(89)で「山路ふみ子監督賞」、「ふたり」(91)で「アメリカ・ファンタスティックスター賞」、「青春デンテケデケデ」(92)で「平成4年度文化庁優秀映画作品賞」、「SADA」で「ベルリン国際映画祭国際批評家連盟賞」、宮部みゆき原作「理由」(04)で「日本映画批評家大賞・監督賞」、「藤本真実助賞」を受賞。2011年3月11日を受けた最新作「この空の花 - 長岡花火物語」は全国順次公開中。2004年春の紫綬章受章、2009年秋の旭日小綬章受章。



ローランド創業者 / 公益財団法人ローランド芸術文化振興財団理事長  
梯 郁太郎 (かはし いさお)

1930年大阪生まれ。'54年カケハ線(電気店)を創業。'60年に電子楽器製造会社のエース電子工業(株)を、'68年に米国ハモンド社との合弁会社を設立。'72年両社を退社し、ローランドを設立。世界初を含む革命的な電子楽器を次々と発表。'91年には米国パーカー音楽大学から名誉音楽博士号を授与される。'94年に(財)ローランド芸術文化振興財団を設立して、理事長に就任。'00年電子楽器の技術革新による音楽界への多大な貢献により、アメリカHollywood's RockWalkに身形と署名を残す。'02年世界各国の音楽 / 楽器専門誌で構成されるm.i.p.aの「Lifetime Achievement Award」を受賞。'05年には、電子楽器の開発で世界に貢献し、また中国国内の電子楽器の普及にも大きな影響を与えたその功績に対し、中国で最高の国立音楽学院である中央音楽学院より名誉教授称号を授与される。音楽家以外の人物に同校の名誉教授号が授与されるのは初めてであり、日本人としては指揮者の小澤征爾氏に次いで二人目の授与となった。'08年には、音楽業界と音楽教育への貢献が称えられ、英国グラモフォーン大学より名誉教授の称号を授与される。著名「ライフワークは音楽〜電子楽器の開発にかけた夢〜」(音楽之友社)は、アメリカ、ドイツ、台湾、中国でも出版される。メーカーを問わない電子楽器の世界共通規格としてMIDI (ミディ) の制定に尽力し、MIDI規格がその後の音楽産業の発展に貢献したことが評価され、2013年、The Recording Academyから「Technical GRAMMY® Award (テクニカル・グラミー・アワード)」を受賞。モットーは「シンプル&ストレート」。



オルガニスト  
橋 ゆり (たしばな ゆり)

3歳からピアノを始め、その後電子オルガンへ転向。コロムビアレコードよりリダーアルバムを2枚リリース。テレビ出演、理論書や曲集の出版など、幅広いジャンルでの執筆やアレンジをこなす。2002年から2009年にかけてキングレコードから「Organ Chat」(Organ Chat 2)「Organ Chat 3」をリリース。そのユニークなアレンジと演奏で好評を得る。2011年には富田勲氏作曲による「源氏物語幻想交響録巻」のアレンジと演奏を手掛け、壮大なサウンドで聴衆を魅了した。現在、演奏活動は国内のみならず、アメリカ、ヨーロッパ、アジア、中国、東南アジアにもおよび、国際的な活動をするかたわら、キングレコードをはじめとするレコード会社にレコーディング・アレンジャーとしても活躍している。



パーカッション  
梯 郁夫 (かはし いさお)

東京音楽大学打楽器科卒業。民族音楽から現代音楽、ポップミュージックまでジャンル越えたパーカッションとして、数々のコンサート、スタジオワークに参加。ロック、ジャズ、ポップス、クラシック、邦楽等、あらゆる分野のアーティスト、舞台、映画音楽からTV、CM音楽などに関わってきた。特にレコーディングに於ける斬新かつ的確なアプローチには、多くの作曲家が厚い信頼を置いている。自身の活動の場として、1992年に青山円形劇場にてスタートした「PERCUSSIVE MOVEMENT」は自ら企画構成、作曲、演奏するコンサートとして、打楽器アンサンブルの新しいスタイルを提示。また2005年には初のソロアルバム「Percussive Graphics」発表。



司会  
村松 真貴子 (むらさき まきこ)

元NHKキャスター / 食生活・教育ジャーナリスト / エッセイスト  
東京都出身。武蔵大学文学部日本文学文化科学卒業。SBS静岡放送アナウンサーを経てフリーになり、以後NHKの番組「きょうの料理」、「イブニングネットワーク」、「こんにちはいっしょ」を担当。このほか、講演、講演、執筆活動なども行っている。平成24年度「社会教育功労者表彰」受賞。

【入場料】 前売 [一般] 2,500円・[学生] 2,000円 当日 [一般] 3,000円・[学生] 2,500円 ※いずれも税込・全席自由

【申し込み方法】 以下のいずれかの方法でお申し込みください。

①公益財団法人ローランド芸術文化振興財団宛に電話もしくは申込書にもれなくご記入の上FAXにて。

TEL:053-523-0352 (受付時間 9:00~17:00 / 土・日・祝を除く)

FAX:053-523-0415

②公益財団法人ローランド芸術文化振興財団ホームページより。<http://www.roland.or.jp/>

※お申込み後、銀行振込にて入場料をご入金ください。ご入金を確認次第、入場券をお送りいたします。

【銀行振込】りそな銀行浜松支店 普通4619013 口座名:公益財団法人ローランド芸術文化振興財団

※依頼人の後ろに、必ず「橋 ゆり オルガンコンサート」と明記してください。  
※定員になり次第、締め切りとさせていただきますので、お早めに申し込みください。

③紀尾井ホールチケットセンター TEL:03-3237-0061 (受付時間 10:00~18:00 / 日・祝を除く)

【お問い合わせ】

公益財団法人ローランド芸術文化振興財団

TEL:053-523-0352 (電話受付9:00~17:00 / 土・日・祝を除く) / FAX:053-523-0415

切り取らずにこのままFAXしてください。

梯 郁太郎 テクニカル・グラミー・アワード 受賞記念

橋 ゆり ローランド オルガンコンサート ~富田 勲の世界~

[FAX申込書]

申込日 / 年 月 日  
一般 枚 学生 枚

ふりがな	TEL. ( )
ご氏名	FAX. ( )
ご住所(入場整理券送付先) 〒	様
勤務先・所属楽器店または音楽教室	
本コンサートの開催をどこで知りになりましたか?	<input type="checkbox"/> ウェブサイト <input type="checkbox"/> メール・ニュース <input type="checkbox"/> 楽器店 <input type="checkbox"/> 音楽教室 <input type="checkbox"/> 知人より <input type="checkbox"/> その他( )

※ご記入いただいた個人情報につきましては、当財団規定に基づき、適切かつ厳重に管理いたします。<http://www.roland.or.jp/privacy/>

FAX.053-523-0415



紀尾井ホール  
〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町6番5号  
TEL.03-5276-4500 (代表)  
●四ツ谷駅(丸の内線・東京メトロ丸の内線)徒歩約10分  
●丸の内線(丸の内線)有楽町線2番出口徒歩8分  
●赤坂見附駅(東京メトロ銀座線・丸の内線)丸の内線出口徒歩8分  
●永田町駅(東京メトロ丸の内線・有楽町線)7番出口徒歩8分